

おうちの電気を調べてみよう！（小学生・中学生対象）

コンセントなど電気が来るところは、正しい知識を持っていないと思われぬ事故が起こる可能性があります。コンセント周りで起こる事故の例について説明します。次のページに事故を防止するための点検方法と注意点を説明します。

電気が引き起こす火災事故について

○トラッキング火災

コンセントとプラグ（差し込む方）の間にほこりがたまり、そこに湿気が加わるとコンセントのところでショートが起きて、熱を持ってやがて発火してしまう現象をトラッキング火災といいます。キッチンや洗面所付近や梅雨の時期の湿気が多いところで起こる可能性があります。

○たこ足配線火災

おうちには、家電製品やゲーム機などの機器が増えて、コンセントの数が足りないため、延長コードを使ってそれらの機器を使用することが多数見受けられます。1カ所のコンセントに延長コードを使ってたくさんの機器をつないでしまうと、コンセントが発熱して火災を引き起こすことがあります。このような現象をたこ足配線火災といいます。リビングなど家電製品をたくさん使っている部屋で起こる可能性があります。




○配線コード火災

配線コードがドアや引き戸に挟まって使用している場合や配線コードの上にかぐ家具などの重いものが乗って使用している場合、配線コードが長い場合コードを束ねた状態で使用していると、曲がっている部分に余計な力がかかり、断線することや火災につながる可能性があります。このような火災を配線コードによる火災といいます。

これらのことが起こらないように、休業中におうちを調べてみましょう。

わからないことがあったら、有田工業高校の電気科の先生に聞いてください。

しら わる
調べるポイント（コンセントの悪いところ）

		
<p>プラグにごみがたまって います。トラッキング 火災の原因になります。 ごみを取り除きましょ う。</p>	<p>1カ所のコンセントに 3個のプラグが付いてい ます。これが、たこ足配 線です。別のコンセント に繋ぎ変えてください。</p>	<p>長いコードを束ねてい ます。束ねたコードをほ どいてじゃまにならない ようにしてください。ま たは、短いコードと取り 替えるてください。</p>

しら ちゅういん
調べるところと注意点

しら よ じるし わる じるし か
○調べるところ（良かったら○印、悪かったら×印を書きましょう）

- プラグにごみが付いている、たこ足配線、コードを束ねている等は、×印

冷蔵庫のまわり		テレビのまわり		洗濯機のまわり	
勉強機のまわり		仏壇のまわり		箆笥のまわり	
リビングのコンセント		各部屋のコンセント			

しら ちゅうい
調べるときの注意すること

- 無理に物を動かして調べない。大きなものを動かすときは大人に頼みましょう。
- コードを引っ張らない。プラグのプラスチックの所を持って抜き差しする。
- プラグの抜き差しをするときに金属部分に触れないようにする。

じるし よ
×印のところを良くしよう

- ゴミが付いていた場合は、固く絞った雑巾できれいにしてください。
- たこ足配線は、別のコンセントに繋ぎ替えてください。
- 長いコードは、短いコードと取り替えてください。